

2025年3月13日

公益財団法人 日本英語検定協会

大学志願者、大学側の入試担当者のメリット多数

株式会社 KEI アドバンスと**英検を活用した大学入試の出願デジタル化に向けた基本合意を締結**

公益財団法人 日本英語検定協会（以下、「英検協会」）は、大学入試における出願システム等を運営する株式会社 KEI アドバンス（以下、「KEI アドバンス」）と、このたび、以下の基本合意を締結しましたことをお知らせいたします。

【基本合意の内容】

英検協会が実施・運営する、実用英語技能検定（以下、英検）の「デジタル証明書」^{※1}と、KEI アドバンスが提供する、「大学入試 ASP」^{※2}とを連携させ、「大学入試 ASP」を活用いただいている大学で、2026年度の大学入試から英検のデジタル証明書を活用できるように開発を進めてまいります。

※1: デジタル証明書は、英検の合格証明書・英検 CSE スコア証明書の電子版で、紙の証明書と同じく英検の公式な証明書です。

[生涯学習アカウント「デジタル証明書」提供開始のお知らせ（2024年5月24日付）](#)

※2: 「大学入試 ASP」は、インターネット出願をはじめオンライン受験票・合格発表・入学手続・成績開示と、出願から入学手続までワンストップで利用いただけるサービスです。

**【本連携の背景】**

昨今、全国の高校や大学入試において、英検をはじめ外部検定試験が広く活用されています。特に英検は大学入試において、受験者が利用した外部検定試験の約9割を占め（[2024年度一般選抜、旺文社 教育情報センター調査](#)）、英検の成績証明書を出願時に大学側に提出する志願者はかなりの数に上ります。そしてその提出方法は、以前と変わらず、紙の証明書を求める大学が非常に多い状況です。

一方、KEI アドバンスが提供する、「大学入試 ASP」は、全国の約100の大学で採用されており、大学入試における出願登録、出願書類提出、入学検定料の支払等でオンライン化が進んでいます。

英検協会としては、英検のデジタル証明書を「大学入試 ASP」上で大学側に提出できれば、大学志願者にとってはもちろんのこと、大学側の入試担当者にとってもより利便性が高まるのではないかと考えました。

詳細につきましては、次頁をご参照願います。

【課題と本連携で実現するメリット】

「**時間短縮、準備らくらく!**」、「**郵便不要、かかる費用なし!**」

大学志願者にとって

○課題

検定試験運営団体は、ウェブで成績公開も行っていますが、紙の証明書が受験者の手元に届くまでは1週間程度かかります。そのため外部検定試験を大学入試に利用する場合、紙の証明書が届くのを待ち、さらに大学に送付する期間を考慮して出願タイミングを決める必要があります。

CBT方式の普及により検定試験を受験できる機会は増えていますが、大学の出願締め切り間際に成績が公開される試験では、良い成績を取れていても出願に利用できない場合があります。

○本連携で実現するメリット

英検の合否公開日当日からデジタル証明書の発行および大学への提出が可能になります。これにより、**出願直前まで英検に挑戦する機会が広がり、より高い級資格・スコアで大学入試に臨むことができる**ようになります。

出願のための紙の証明書の準備が大変…



証明書がすぐ手に入って、出願締め切りに間に合った!



「**確認チェックらくらく!**」、「**不安軽減、ミス低減!**」

大学の入試担当者にとって

○課題

志願者から届く外部検定試験の紙の証明書を開封・チェックし、不備がある際は志願者に個別に連絡し訂正を行うなど、非常に手間がかかっています。

システムで成績照会する場合も氏名や生年月日が一致しないケースもあり、また目視確認でチェックする場合はミスが発生する危険性も伴います。

○本連携で実現するメリット

出願時に、志願者に英検のデジタル証明書を紐づけ、自動でチェックを行います。これにより、**目視確認でのチェック工程がなくなり、個人情報不一致による志願者への問い合わせについても負荷を減らす**ことが可能になります。

目視確認のチェックはミスが起きそうで不安…

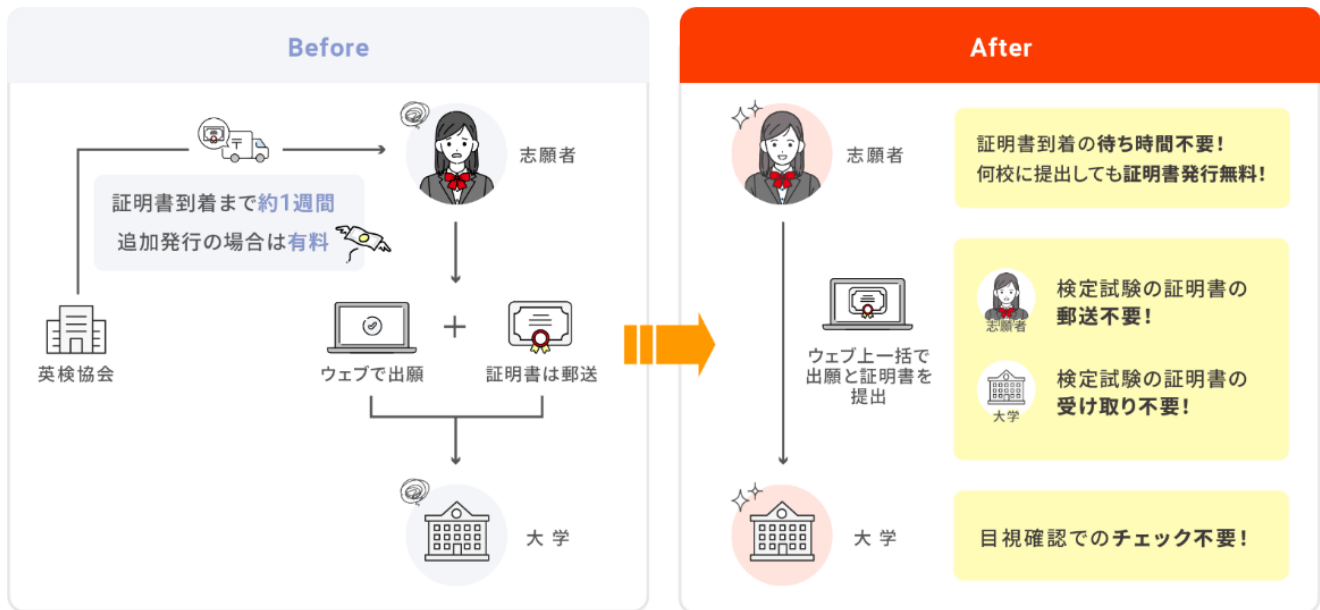


出願時にチェックしてくれるから安心!



【本連携により実現するスキーム】

本連携により、出願の英検証明書提出手続きが志願者・大学いずれにおいても簡素化されます。



【今後の展開について】

英検協会としては、このたびの KEI アドバンスとの取り組みに続き、他のシステム会社各社に働きかけ連携を図らせていただくことで、全国ほぼ全ての大学で英検の証明書をデジタルで提出できる状態を目指してまいります。

それにより、一人でも多くの大学志願者、並びに大学側の入試担当者にとって利便性がより高まっていただければと存じます。

英検協会は、「実用英語の普及促進」「生涯学習の振興」の理念を実現するため、今後さらに英語学習者や教育機関・自治体・国、それぞれのための有益なサービスの提供を行ってまいります。

新しい取り組みが決定しましたら、順次、速やかにご案内申し上げます。



株式会社 KEI アドバンス (<https://www.keiadvanced.jp/>)

[本社] 東京都千代田区麹町 3-2 ヒューリック麹町ビル

[代表者] 代表取締役社長 矢島敏男

[事業内容] 出願受付代行業、教育情報提供事業、広告宣伝および広告代理店事業など

株式会社 KEI アドバンスが運営する「大学入試 ASP」は、出願受付から入学試験、合格発表、入学手続きに関してワンストップなサービスを提供しており、多くの大学で利用されています。

本件に関するお問い合わせ先

入試出願システム会社のご担当

英検協会の考えにご賛同いただけるシステム会社様からのお問い合わせにつきましては、下記担当までご連絡ください。

公益財団法人 日本英語検定協会 デジタルサービス企画開発部 (担当：郷、平) 03-3266-6143

KEI アドバンスのネット出願システムを利用している大学のご担当

KEI アドバンス 各拠点 (東京・西日本・名古屋・九州) のシステムソリューション部担当者までお問い合わせください。